

(様式 3)

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大国小学校 学校協議会

### 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

運営に関する計画の最終評価等から、大国小学校が様々な教育活動に取り組み、丁寧に検証していることがわかった。今後も子どもの学習意欲が高まるような教育活動や行事等に取り組み、積極的に教育実践を積み重ねてほしい。そして、学力向上に力を入れてほしい。本校の学力については課題が大きいが、令和 6 年 1 月に実施された経年調査の結果や、令和 7 年 1 月に実施された漢字検定の結果を考慮すると、昨年度に引き続き、学力向上の兆しが見える。今後も引き続き、課題に焦点をあて、自ら学びに向かうような取り組みを継続してほしい。

下校時の安全見守り活動等については、子どもたちとあいさつを交わしたり、声をかけてくれたりすることが、日々の見守り活動の励みとなっている。登校が遅れがちにならないように、私たちからも子どもや保護者に声をかけ、地域住民全体で見守っていきたい。令和 6 年度は、「大国盆おどり」「大国こども食堂（まんぷく）」「6 年大国集会所訪問」など、地域との交流を行うことができた。今後も学校と地域が工夫をしながら積極的に連携を深め、子どもの健やかな成長を育んでいくことが大切である。

また、「朝食を毎日食べている」と回答する子どもが大阪市の平均と比較して多い傾向にある。学校だよりや学校ホームページなどで家庭への啓発も進めていってほしい。

### 2 年度目標（全市交通・学校園）ごとの評価

#### 【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

- 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88 % 以上にする。（令和 6 年度 94 %）
- 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80 % 以上にする。（令和 6 年度 81 %）

達成状況の評価に関しては妥当であると考える。

学校は、子どもや家庭の課題に丁寧に向き合っている。今後も引き続き、一人ひとりの子どもを大切にしながら、教育活動を進めてほしい。

大国小学校の子どもの不登校の理由はよくわかった。家庭との連携を密にし、学校に登校しづらい子どもの状況が少しでもいい方向にいくように、浪速区役所や子ども相談センターなどの関係諸機関と連携をしながら、支援を続けてほしい。

#### 【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 6 年度の小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団に

おいて経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。

- 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65 %以上にする。（令和 6 年度 79 %）

達成状況の評価に関しては妥当であると考える。

朝の学習時間を有効に活用している。また、日々の学習では、「できた！」という自信が積み重ねられるような指導ができるようになっている。令和 6 年 1 月に行われた大阪市学力経年調査と令和 7 年 1 月に行われた漢字検定の結果から、学力向上の兆しが見えてきている。今後も引き続き、学力向上のために継続して取り組み、粘り強く指導をお願いしたい。

外国籍や外国にルーツのある児童の日本語指導については、学校が努力していることがわかる。今後も、子どもたちのために継続的に指導してほしい。

体力向上については、引き続き、課題を見定めながら取り組みを継続してほしい。

### 【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。（令和 6 年度 1 月時点 23.6 %）
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 90 % 以上にする。（令和 6 年度 100 %）

達成状況の評価に関しては妥当であると考える。

学習者用端末を活用した学習は、導入時よりも学校でできるプログラムが増え、活用率は上がっている。引き続き指導をお願いしたい。また、大国小学校は児童数も少ないので、少人数であることを生かし、個々の興味・関心を大切にした活用も図り、指導してほしい。

## 3 今後の学校運営についての意見

○ 学力の向上については、学校が様々な取り組みを進めていることは理解できる。児童数が少ないため、一人の結果が全体の結果を大きく左右していることもわかった。数値の結果だけにとらわれるのではなく、今後も、一人ひとりの子どもの実態や課題を把握しながら継続して取り組みを進め学力を上げてほしい。

○ 地域の取り組みとしては、令和 6 年度、「大国盆おどり」「大国こども食堂（まんぷく）」「6 年大国集会所訪問」など、地域との交流を行うことができた。今後も学校と地域が積極的に連携を深め、工夫をしながら、子どもたちのために取り組みを進めていきたい。

○ 学校と保護者や子ども見守り隊、区役所や警察が連携し、通学路の安全確保に努めている。その結果、大きな事故や怪我がなく子どもが登下校することができている。

○ 来年度も、地域と学校が連携しながら、防災訓練や交通安全指導などの取り組みを行っていくことが、地域全体で子どもたちの安全を守っていくうえで大切である。